

【概要版】北海道高齢者居住安定確保計画(素案)

第1章 計画の目的等

北海道における高齢者の居住の安定確保を目指し、高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく都道府県計画として、北海道が定める計画 <計画期間:令和3年~令和8年の6年間(3年見直し)>

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

1 高齢者の人口・世帯等

- (1) 高齢者人口・寿命の状況
- (2) 地域別人口の状況
- (3) 過疎集落の状況
- (4) 高齢世帯の状況
- (5) 要介護者等の状況

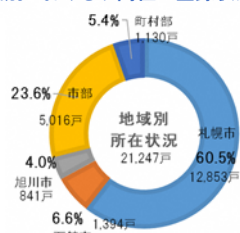
【総世帯に占める高齢者世帯の割合(北海道)】



2 高齢者の住まいと暮らし

- (1) 住宅所有の状況
- (2) 高齢者のいる世帯の住まいと収入
- (3) 住宅のバリアフリー化状況
- (4) 高齢者向け住宅・施設の状況
- (5) サ高住の供給状況
- (6) 居住支援体制の状況

【地域別におけるサ高住の登録状況(北海道)】



3 高齢者の居住を取り巻く課題

- (1) 高齢者のニーズに応じた住まいの確保と住環境の形成
 - ① 支援や介護等を必要とする高齢者の住まいの確保
 - ② 低所得や障がい等による住宅困窮の解消
 - ③ 加齢等による心身の変化に対応した居住環境・住環境の形成
- (2) 住み慣れた地域での暮らしを支える環境の整備
 - ① 地域との関わりの中で、高齢者を支える取組の促進
 - ② 在宅生活を支える医療・介護サービスの提供基盤の充実
- (3) 適切な住まいやサービス等を選択できる仕組みの構築・充実
 - ① 高齢者が適切に住まいを選択できるための情報提供・相談体制の充実
 - ② 効率的な取組推進に向けた関係分野の連携体制の充実

第3章 基本目標

基本目標

目標【1】
高齢者のニーズに応じた
多様な住まいまちづくり

目標【2】
身近な地域で高齢者が
長く暮らせる環境づくり

目標【3】
高齢者の居住の安定確保
に向けた体制の確保

第4章 施策の展開

基本的な施策

(1) サ高住の適切な供給・管理の促進

(2) 特別養護老人ホーム等の整備促進

(3) 重層的な住宅セーフティネットの形成

(4) 高齢者が安心して暮らせる居住・住環境づくり

(1) 地域における生活支援体制の充実

(2) 在宅生活を支えるサービス提供基盤の充実

(1) 相談・情報提供体制の充実

(2) 関連分野の連携体制づくり

具体的な取組

① サ高住の全道展開・供給の促進

② サ高住の適切な管理の促進

① 特別養護老人ホーム等の整備促進

② その他の施設等の設置促進

① 公的賃貸住宅の適切な供給・管理、優先入居、ユニバーサルデザインの普及推進

② セーフティネット住宅等の民間賃貸住宅の供給促進

① 民間住宅のバリアフリー改修に対する支援

② 福祉のまちづくりの推進

③ まちなか居住やコンパクトなまちづくりの推進

① 高齢者等が安心して暮らせるコミュニティづくりの推進等

② 高齢者の権利擁護

③ 交流拠点の整備促進

④ 地域の拠点形成等による地域コミュニティと利便性の向上の促進

① サービス提供基盤の整備促進

① 相談窓口の強化

② 民間賃貸住宅を活用した高齢者世帯等への入居支援

① 市町村や民間(医療・福祉サービス事業者、建設・不動産関連事業者等)との連携

【高齢者に対する賃貸住宅及び老人ホーム等の供給の目標】

住宅・施設名	実績(令和2年度)	目標(令和5年度)
サービス付き高齢者向け住宅	21,247戸	24,680戸
特別養護老人ホーム	29,152床	30,701床
介護老人保健施設	16,449床	16,866床
介護医療院	1,814床	2,031床
介護専用型特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	1,146床	1,247床
混合型特定施設入居者生活介護	11,643床	12,654床

第5章 計画の推進方策

1 計画の推進体制

民間・市町村・道の連携による施策推進

2 計画の推進管理

施策の実施状況の把握、社会情勢等を踏まえ見直し(3年毎)